

## はんざわ多美の 市政ウォッチング

### 公園の整備

家の近くの西公園の日曜日。15時ごろでしたが、鬼ごっこや遊具遊び、自転車で遊ぶ子どもたちやお散歩する高齢者で公園はにぎわっていました。大人もあわせて80名ぐらいいいたでしょうか。休日の午後の幸せな公園の光景でした。

西公園は、障がい者も利用できるバリアフリーのきれいなトイレが整備されています。また、公園から道を挟んですぐのところに無料でとめられる駐車場があります。大きな木がたくさんあって親さんはそこで子どもを見守れます。遊具は小さい子どもが遊べるものから木製のアスレチック調のものもあります。芝が敷かれた程よい丘があるので少し大きい子どもも鬼ごっこを楽しむにはちょうど良いのでしょう。桜や藤棚、芝も整備されています。子どものころに大好きだった遊び場の風景は、大人になっても故郷の良き思い出の場所となります。大垣を故郷とする子どもたちに、さらにいい公園を市として整備していくことを求めています。

### 保育園の待機児童問題と 保育士の確保

大垣市の保育園の待機児童はゼロと発表されています。確かに4月の新入園の時期は数字上ゼロとなっているようです。しかし、年度途中で保育園に入ろうとすると特に0歳～3歳児は待機児童になってしまっているという現状があります。いわゆる

## 「子育て日本一大垣」 をめざして

る隠れ待機児童といわれる子どもたちです。来年度は10月から消費税増税と引き換えに保育料が一部無料(給食費以外)になるということがいわれています。保育園への入園希望者が増えることが想像されます。

一方で、先日長らく公立保育園の教員をされてきた方々にお会いしました。「保育現場は常勤保育士が過重労働のため辞めてしまう事態があり、残った先生でさらに大変。子どもたちを十分に遊ばせる余裕がなく管理に追われることになってしまっている現状がある」「常勤保育士採用のための募集方法の改定や辞めない工夫を市に求めてほしい」とお聞きしました。待機児童の解消と保育園の充実。そのためには保育士の人材確保や労働環境の整備など市が取り組むべき課題があります。

### 留守家庭児童教室と 放課後学級

小学生期の授業後の子どもの居場所として大垣市には留守家庭児童教室があります。対象は共働きなどで放課後留守家庭になる家庭の児童です。最近はお母さんが増えて希望児童が増加していて、空き教室や指導員不足が課題となっているとのことでした。保育園と同じく、待機児童をつくらない対策が必要です。また、大阪から引っ越してこられたあるお母さんは言います。「うちは留守家庭ではないけれど、子どもが家に帰ってきて毎日の宿題のことで

親子関係が悪くなってしまいます。大阪にあったのだけど、地域の人や親が関わる常設の子どもの居場所が大垣にもあるといい」。大阪には、「放課後学級」という文科省の補助金をうける制度があり、子どもたちや地域の方々の居場所として学校が機能しています。

留守家庭児童教室(学童保育所)の充実をどのように進めるのかを検討するかたわら、今後は、例えば留守家庭児童教室(学童保育所)という選択肢だけではなく、親が働いているか否かにかかわらず利用できる「放課後学級」という選択肢を大垣市でも設置の検討をすすめることも必要だと考えます。

### どの子にも幸せな子ども時代を

- ♪ サクラ咲いたら一年生
- ♪ ひとりりでいけるかな
- ♪ となりにすわっていいのかな
- ♪ ともだちになれるかな
- .....
- ♪ チョウチョがとんだら一年生
- ♪ カバンは重いか
- ♪ 眠たくなったらどうしよう
- ♪ 給食はうまいかな
- ♪ 誰もが最初は一年生
- .....

今年の4月に小学一年生になる息子が口ずさんでいました。小学生になる期待と緊張が伝わってきます。どの子も幸せな子ども時代を。福祉・教師政策の充実が欠かせません。



はんざわ多美